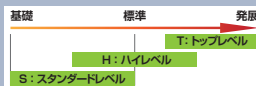


高1

英語T	授業は2部構成(英文法英作文・英文読解)になります。英文法と英作文では、入試頻出である「仮定法」をテーマに、入試問題まで解けるように授業を行います。英文読解の授業では実際の入試英文を素材とし、複雑な英文の構造分析と解釈の技術を学びます。
英語H	入試頻出である「仮定法」をテーマに、応用レベルの入試問題まで解けるように指導を行います。現実には起こる可能性が極めて低いことについて述べる形式が仮定法ですが、時制の扱いが難しく、そのため難関大入試で頻出の項目となっています。国公立大2次試験レベルの問題にもチャレンジします。
英語SC	泉陽高校の進度に合わせ、数学Ⅱの先取り学習を行います。高校数学は数学ⅡBが正念場です。その学習は数学ⅠAの内容が身についていることが前提になるので、その点検をしながらじっくりと進めていきましょう。数学ⅠA範囲の復習を行う数ⅠA演習(標準編)とのセット受講がお勧めです。
実践入試英文法	高校英文法の基礎となり、大学入試で頻出の「準動詞」「関係詞」「比較」を4日間で総復習する講座です。日本語にはない英語独自の発想を踏まえて、それぞれの単元を整理し直し、大学入試レベルの英作文にまで対応できる実践力を育成します。
英文法復習講座	高校入学後に学習した英文法のうち、重要事項を復習する講座です。基礎項目の確認に加え、問題演習と解説を通して、実践的な知識の習得を図ります。冬期講習から入会される方を含め、高1の間に英文法の基礎を確立させるためには必須の講座です。
数学「数列とその和」T/H 150分	数列について基本から応用まで幅広く講義・演習します。等差、等比数列を学んだあと、和を表す Σ (シグマ)記号、いろいろな数列の和の計算を行います。単純には計算できない数列の和もエレガントに計算できる方法を伝授します。※「数列」の残りの内容(漸化式・帰納法)は今後の通常授業で扱います。
数学SC	泉陽高校の進度に合わせ、数学Ⅱの先取り学習を行います。高校数学は数学ⅡBが正念場です。その学習は数学ⅠAの内容が身についていることが前提になるので、その点検をしながらじっくりと進めていきましょう。数学ⅠA範囲の復習を行う数ⅠA演習(標準編)とのセット受講がお勧めです。
数学「命題と論理」(上級編)	本講座では、数学で推論の基礎となる言葉の意味や様々な論法に習熟することを目指します。「すべて、ある、かつ、または」、命題の「逆、裏、対偶」、そして「必要、十分、同値」などの言葉の意味と記号、および使い方を学び、それらが答案作成でどのように威力を発揮するかを実感していただきます。
数学「数ⅠA演習」(標準編)	数学Ⅰおよび数学Aの重要単元を演習・解説する講座です。2次関数のように高校数学の基礎となる単元もあれば確率や整数のように入試頻出の単元もあり、高1で学ぶ数学は非常に重要な単元ばかりなので、基礎が定着していないと不安を感じている人は受講してください。

高 2

英語 T 150 分	that, as, but の使い方を品詞と用法に分けてわかりやすく整理し、機能語の知識を高いレベルで体系化していきます。英文読解は、東京大、京都大、大阪大、国公立医科大の英文を素材とし、倒置・強調、省略・共通関係、挿入構文を含む英文の構造分析とマクロ的(巨視的)読解法を学びます。
英語 H	大学入試レベルで頻出の「同格」「名詞構文」は、直訳しただけでは意味が通りにくい非常に難解な文章になるため、長文読解だけではなく英作文でも多用されています。これらを克服するテクニックを、難易度の高い文章を用いて身につけていきます。
英語 S	大学入試レベルで頻出の「同格」「名詞構文」は、直訳しただけでは意味が通りにくい非常に難解な文章になるため、長文読解だけではなく英作文でも多用されています。これらを克服するテクニックを、基本的な文章を用いて身につけていきます。
必修英文法(上級編)	入試頻出の「時制」「仮定法」「比較」「関係詞」を学習します。どの単元も日本語にはない考え方が多くあり、単なる例文の丸暗記だけでは様々な問題形式に太刀打ちできません。この講座では各単元の基本概念を理解し、基礎だけではなく発展レベルの文法問題を解くことができる力を養います。
必修英文法(標準編)	入試頻出の「時制」「仮定法」「比較」「関係詞」を学習します。どの単元も日本語にはない考え方が多くあり、単なる例文の丸暗記だけでは様々な問題形式に太刀打ちできません。この講座では各単元の基本概念を理解し、基礎から標準レベルの文法問題を解くことができる力を養います。
理系数学「微積分の応用」T 150 分	前半では平均値の定理とテイラー展開について学び、有名な「オイラーの公式」を導きます。後半では微分方程式の意味と解法の原理を学び、微積分をより深く理解するとともに、古代遺跡の年代測定や人口増加のモデルなどといった現実的な問題へ応用します。※数学Ⅲの微積分を前提知識としています。
理系数学「複素数」H 150 分	複素数を平面上の点と対応させることにより「複素数平面」ができあがります。この複素数平面を利用すれば、図形の問題を複素数の計算で解くことができます。複素数平面の定義、複素数の積の図形的意味からはじめ、複素数平面上での円や直線の式、幾何への応用、1 次分数変換などを講義・演習します。
数学「数 B 演習」T / H	平面ベクトルと数列について、演習を通じてより深く理解するとともに、その応用を学びます。図形的に興味を引く題材や、他分野と関連した話題を豊富に取りそろえ、おもしろさを追究した構成になっています。高2のこの時期の受験準備としてすべての高2生の方にお勧めする講座です。
数学 I A II B - S	関数や方程式・不等式を中心に、教科書レベルから入試基本問題レベルの内容を完全にマスターし、入試標準レベルへの橋渡しも行います。公式類の知識が中途半端になってしまっている人は、まずは本講座で基礎固めを行い、大学受験への準備を進めましょう。
現代文・古文	現代文を2日、古文を2日扱います。入試問題を題材として演習・解説を行います。4日間の授業を通して、受験生として身につける必要がある力とその習得方法を提示します。これまで意識的に国語を勉強したことのない人にも、すでに受験を意識して動き始めている人にもおすすめです。
物理 H	力学の最終テーマである「単振動」について講義します。入試出題率が非常に高いテーマのため、基礎となる原理をしっかりと理解した上で、演習を通してそれらの原理の使い方を自分のものにしていただきます。4日間で様々なバリエーションの問題を扱い、単振動についての理解を深めていきます。
化学 H	高2の冬は受験生としてのスタート時期です。そこで冬期講習では特に化学範囲の計算分野を中心に復習を行います。具体的には、結晶、気体、溶液の一部までを扱います。標準レベルの入試問題を多く扱い、各内容に慣れ、次への好スタートを切れるように準備していきましょう。
日本史	人類誕生から始まり、集団の形成、そして天皇中心の中央集権国家として成立していく過程である「原始・古代」の講義を行います。単なる暗記科目ではなく、「歴史のつながり」を意識することで飛躍的な向上が実現できる日本史。この講座で大学入試の日本史を知り、「歴史のつながり」を体感しましょう。



高 3

京大・阪大英語 150分	英文読解では、構造分析と下線部和訳、マクロ的読解法、前置詞の総整理を行います。論理的思考力を養成するだけでなく、専門用語や難語を含んだ抽象度の高い英文の読解法を学びます。英作文では、「書くため」の英文法をマスターすることを目標とし、添削指導を通して自然な英文の書き方を学びます。
国公立大英語	難関国公立大で出題される抽象度の高い読解問題を扱い、正確な構造分析とパラグラフリーディングを駆使し、下線部和訳や説明問題などの記述形式に対応する力を身につけます。英作文では、頻出のテーマを扱いながら、点数を取るための技術を1つずつ確認します。
私立大英語	年々長文化する入試傾向をにらんで、大意を把握することを主眼においたパラグラフリーディングを用いて英文解釈を行います。また、パラフレイズ問題、空所補充問題、内容一致問題などの形式の解法などを学び、関関同立などの難関私立大の総合問題演習を行います。
英文法・語法ファイナルチェック	センター試験や難関私立大で出題される文法・語法の知識を総復習します。四択問題や整序英作文などの文法・語法問題の頻出範囲を中心に総合問題演習を行います。今まで蓄積してきた断片的な知識を総整理することで入試問題の実戦力を養成し、得点力につなげていきます。
センター英語	各大問の解き方を本講座で最終確認します。事前に問題をお渡ししますので、制限時間を計って解いた上で受講してください。その問題を用いて、センター試験ならではの独特な問題の攻略法を重点的に指導します。直前の点検として是非受講してください。
京大・阪大文系数学	京都大、大阪大などの最難関国公立大文系学部への合格を目指し、数学IAIIBの入試頻出問題を中心に演習および解説を行います。定理・公式の活用法やアプローチの方法を中心に講義し、初めて見る問題でも、その流れを読んで確実に解ける高度な思考力を養成します。
国公立大数学ⅠAⅡB	神戸大、大阪市大、大阪府大などの難関国公立大合格を目指し、数学IAIIBの入試頻出問題を中心に演習および解説を行います。定理・公式の活用法やアプローチの方法を中心に講義し、初めて見る問題でも、その流れを読んで確実に解ける高度な思考力を養成します。
私立大数学ⅠAⅡB	難関私立大合格を目指し、数学IAIIBの基本事項の整理から始め、入試標準レベルの問題を確実に得点するための考え方や解法、限られた時間内で効率良く解くための計算方法などを中心に説明し、入試本番で8割以上得点できる実戦力を養います。
京大・阪大理系数学 150分	京都大、大阪大などの最難関国公立大理系学部への合格を目指す方を対象に、テストゼミおよびその解説を行います。入試本番で必要となる思考力や計算力はもちろん、明暗を分けるであろう「得点できる問題を見極める力」を確認します。なお、テストゼミの答えは添削して返却します。
国公立大数学Ⅲ	神戸大、大阪市大、大阪府大などの難関国公立大理系学部合格を目指し、数学Ⅲの総合問題について講義・解説を行う講座です。入試頻出の良問を通して典型的な手法と確かな計算力を身につけ、国公立大2次試験において数学Ⅲを得点源にすることを目標とします。
私立大数学Ⅲ	難関私立大理系学部合格を目指し、数学Ⅲの内容の総合演習および解説を行います。数学Ⅲの典型問題はもちろん、思考力や計算力を要求される問題も扱います。最後まで答案を作成する力を確かなものにします。しっかりと思考し、最後まで計算をやりきる力を磨きましょう。
センター数学ⅠAⅡB	数学IAIIBの全範囲について最終的なトレーニングを行います。基本問題は確実に正解することはもちろん、高得点を目指すための計算の流れも再確認します。またミスしやすい要注意ポイントを押さえることで、本番では安心して受験できるようになるでしょう。 ※数学ⅠAのみ2日間受講も可能です。

論述現代文	国公立大2次試験の問題は論述問題が中心で、いかに部分点を確保していくかがカギになります。この講座では、本文の内容を把握し、減点されない記述答案の作成法を指導します。国公立大文系志望の方、理系でも東京大、京大などを志望する方は是非受講してください。
私立大現代文	関西の私立大入試ではマークセンス問題の比率が以前よりも上がっています。ということは、評論にしても小説・随筆にしても、私立大の現代文に関しては基本的な技術があれば得点できるわけです。そこで本講座では基本的な読解技術と、各選択肢を横に比較する技術を再確認します。
センター現代文	第一問の評論に関しては本文が長くなりつつあります。読むスピードがない受験生にはかなり不利です。そこで本講座では効果的に解答に必要な場所を絞って読み込む方法と、各選択肢にちりばめられたウソを見抜いて答えを選択する方法を指導します。特に国公立大理系志望の方に強くお勧めする講座です。
私立大古文	敬語や助詞を利用した人物判定、速く文全体の流れをつかむ読解方法などの再確認をしつつ、私立大入試で頻出の客観問題の選択肢を絞り込む方法の習得を図ります。また、知識の盲点となりがちな文法識別問題や和歌の分析方法にも触れることで、知識の抜けがない状態を構築します。
センター古文・漢文	センター試験の古文・漢文の読解において、文法力と単語力はもちろん大切ですが、選択肢を利用した本文の読解法など、センター試験の古典には独特の解法があります。センター試験独特の読解法を指導します。特に国公立大理系志望の方に強くお勧めする講座です。
京大・阪大物理	力学、波動、熱力学、電磁気学(原子物理学を除く)の4分野を1回の講義で1分野ずつ扱います。難関大の過去問を題材に、問題文からいかにして物理現象を把握し、物理の基本原理に回帰し、解答していくかを講義します。1問1問をじっくり考え、難問を論理的に打破する力を養成します。
センター物理	センター試験の出題形式に合わせた問題で演習を行い、基本事項の理解度を確認するとともに、問題文の中からいかに物理的現象を把握し、解き進めるかを講義します。物理の解き方を確認し、自信をもってセンター試験本番を迎えるため最終講義です。
化学「高分子化合物」	私たちの体を構成しているタンパク質、栄養源として必要な炭水化物、日常生活で使用している合成高分子は、大学入試では高度な知識および計算力が要求される範囲です。本講座では、入試問題の中から良問を厳選し、難関国公立大および私立大の入試に対応できる力を養成します。
センター化学	国公立大志望者はセンター試験で高得点を得ることで、2次試験を圧倒的に有利に展開していくことができます。本講座では、過去に出題されたセンター試験の問題から良問を厳選し、試験当日の問題にも対応できる力を、テストゼミ形式の授業で養成します。
私立大日本史	様々な形式の入試問題演習を通して、知識の整理・深化だけでなく、知識をどのように使えば解答が導き出せるのかを提示します。難関私立大の入試問題には、単純な一問一答力では対処できません。4日間の授業を通して、確かな解答力を身につけて合格を引き寄せましょう。
センター日本史	本番を想定した予想問題演習により、センター試験で問われるポイントの最終確認を行います。センター試験本番で最初に受ける教科になるので、勢いをつけるためにも、単なる知識整理にとどまることなく、貪欲に高得点を狙っていくことのできる「設問に対するアプローチ方法」を習得しましょう。